

何がすごい、iPS ？！ ==世間が**ザワメク**研究==

先日、京都大学の山中教授が 2012 年のノーベル賞（医学・生理学賞）を
～異例の速さ～ で受賞しました。どれくらい速いかって??

●それは、たったの『6年』です！！



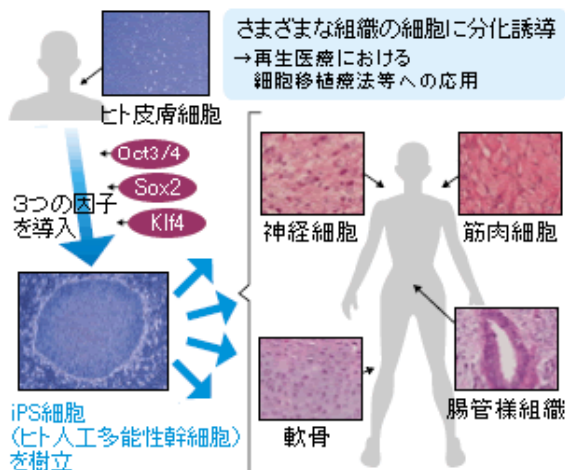
6年という時間が長いと感じるかどうかは人によって様々だと思いますが、ノーベル賞は候補に挙がってから10年以上経過することがほとんど。文学賞などは30年以上の期間。しかも、その年に受賞されると決定される時まで存命でないともられません。

それが、今回は6年。その功績はものすごいことがわかります。

●何が出来るの？iPS細胞って・・・。

やっぱり、一番気になるのは、結局何が出来るようになるのかってことですね？難病が将来的に治せるようになります。今、世界中でその病気を克服するための研究に取り組んでいます。かの超有名なアメリカのマサチューセッツ工科大学、ハーバード大学、クローン羊（ドリー）で有名なイギリスのエディンバラ大学でもすでに研

◆日本国内の主なiPS細胞研究



究に取り組んでいます。もちろん、日本各地の大学も！！

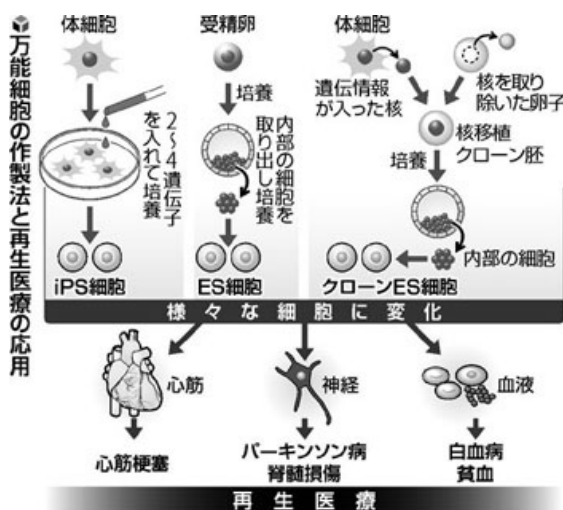
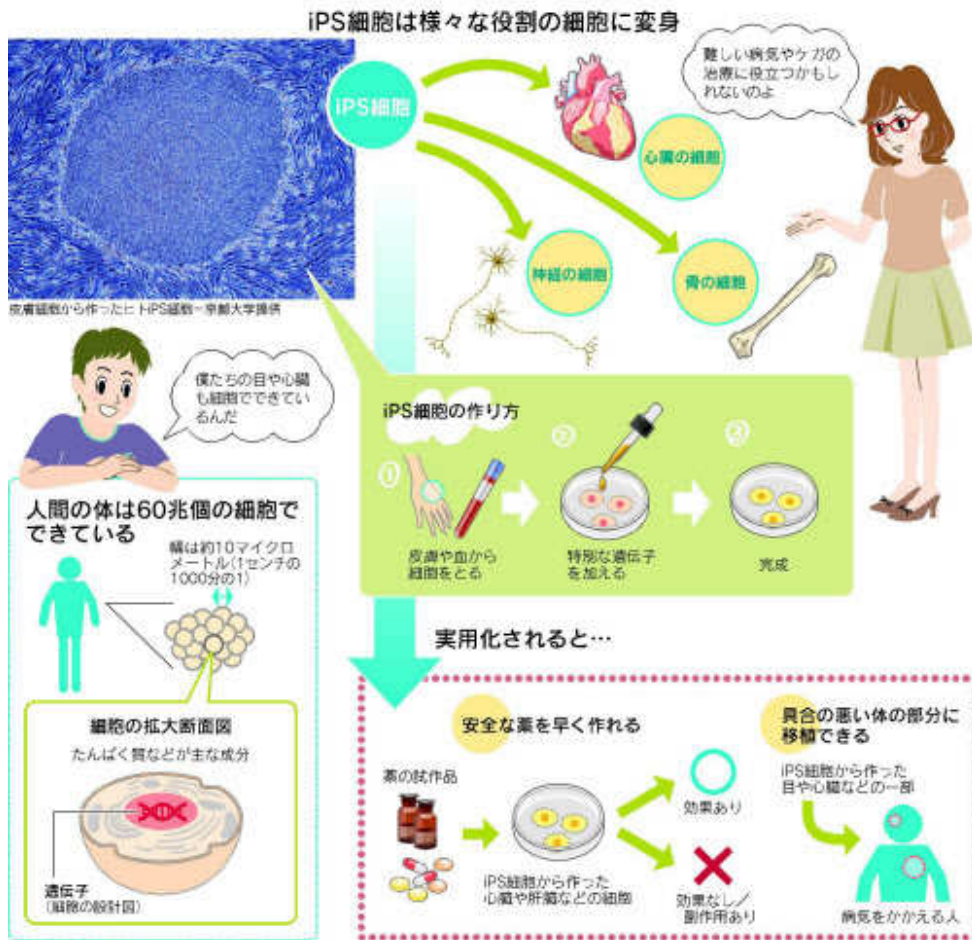
近い将来、拒絶反応がなく、どこかおかしくなってしまった臓器を iPS 細胞を使って（再生医療）作り、病気をする前の生活に戻れる日がくることでしょう。（左図は新しい作成方法）

（次のページへ）

● **もう少しだけ掘り下げてみよう、iPS 細胞！**

つまり、iPS 細胞というのは、自分の細胞から目的のものを作り出せる細胞ということです。

もちろん、普通の細胞はそんなことできません。だから、難病に苦しむ患者さんたちは困っています。どうして病気になってしまうのか、どうすれば



ば治るのか、移植以外の道は残されていなかった・・・。今回の **iPS 細胞** の登場で、研究が進み、薬の開発がしやすくなります。人体を使って実験なんてできませんよね？パーキンソン病、白血病、プロジェリアなど、原因不明の病気(なぜ病気になるのか)は現代でもたくさんあります。

● **大丈夫なの？安全性。**

iPS 細胞自身の研究も進んでいます。最初の方法で作られたものはガンになりやすかったのですが、今はその危険性を**激減**された方法で作られています。日々改良されてます！

ヒトの体は不思議がいっぱい！！



画像 参照元ホームページ

- <http://www.kahaku.go.jp/event/2011/11nobel/content.html>
- <http://www.yomiuri.co.jp/science/ips/news/ips20080815.htm>
- <http://blog.livedoor.jp/liberty7japan/archives/2406345.html>
- <http://www.nikkei.com/article/DGXDZ044811250Q2A810C1TY1P01/>
- <http://www.yomiuri.co.jp/science/ips/news/ips20080815.htm>
- 自作(<http://masukyu.net/>)